

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2001-356491(P2001-356491A)

【公開日】平成13年12月26日(2001.12.26)

【出願番号】特願2001-111451(P2001-111451)

【国際特許分類】

<i>G 03 F</i>	7/26	(2006.01)
<i>B 41 C</i>	1/10	(2006.01)
<i>G 03 F</i>	1/02	(2006.01)
<i>G 03 F</i>	7/00	(2006.01)
<i>G 03 F</i>	7/11	(2006.01)
<i>G 03 F</i>	7/38	(2006.01)

【F I】

<i>G 03 F</i>	7/26	
<i>B 41 C</i>	1/10	
<i>G 03 F</i>	1/02	
<i>G 03 F</i>	7/00	5 0 2
<i>G 03 F</i>	7/00	5 0 3
<i>G 03 F</i>	7/11	5 0 1
<i>G 03 F</i>	7/38	5 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月1日(2008.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記の段階：

(a) 第1の剥離可能な支持体(1)、像記録層(2)及接着剤層(3)を示された順序で含んで成る材料を、支持体(7)、紫外線感光性層(6)を含んで成る紫外線感光性材料にラミネーションし、その際接着剤層(3)は紫外線感光性層(6)にラミネーションされ、

(b) 像記録層(2)を像通りに露光してマスクを形成し、

(c) 紫外線感光性材料を該マスクを通してフラッド露光し、

(d) 紫外線感光性材料を現像する、

ことを含んで成り、その際剥離可能な支持体(1)は段階(b)、(c)又は(d)の前に除去され、そして段階(a)～(d)は2カ月より短い期間内に行われるレリーフ像の現場での製造方法。

【請求項2】

紫外線感光性材料が紫外線感光性層の上に追加の層(5)を更に含んで成り、そして接着剤層(3)が追加の層(5)の上にラミネーションされる請求項1に記載の方法。

【請求項3】

像記録層(2)が熱燃焼性ポリマー結合剤及び光吸収性化合物を含んで成るレーザ融除可能な層である請求項1に記載の方法。

【請求項4】

第1の剥離可能な支持体(1)が、像記録層(2)に面する側において剥離剤でコーティングされたプラスチックフィルムである請求項1に記載の方法。

【請求項5】

該紫外線感光性材料がフレキソ印刷版前駆体である請求項1に記載の方法。